



## デング熱の予防①～カントリー(缶取り)大作戦～

### カントリー(缶取り)大作戦とは？

昨年の夏には東京でデング熱の国内発生が確認されました。奈良県からは国内発生事例の報告がありませんでしたが、決して「対岸の火事」ではありません。

国立感染症研究所のデングウイルス研究の第一人者の高崎先生が中心となって全国へ呼びかけています。ポウフラ対策を取ることで今年の夏に発生するヒトスジシマカの発生を抑える事を目的としています！！

皆さんで屋外に放置された容器(空き缶やトレー等)の撤去や、雨よけシートの水を除去するといったポウフラ対策にご協力ください。

### <蚊によって媒介されます>

蚊に刺されるとかゆく不快だけでなく、蚊が媒介する感染症にかかる恐れがあります。

デング熱と同じように、国内流行が懸念されるチクングニア熱やその他、日本脳炎、ウエストナイル熱、マラリアなども蚊によって媒介されます。

### <国内の主な蚊種類と生態>

日中には屋外で吸血するヒトスジシマカ等(ヤブカ)が、夜間には屋内で吸血するアカイエカ(イエカ)等がいます。



<写真提供：国立感染症研究所昆虫医科部>

デングウイルスはヒトスジシマカとヤマダシマカが媒介します。特にヒトスジシマカは都市部や人の近くで生息しています。成虫の寿命は1ヵ月ほどで、雌のみがその間に吸血と産卵を繰り返します。これらの卵は水たまりなどに産み付けられ、10から14日間ほどで成虫になります。

蚊は古木のムロや、屋外に放置された容器や空き缶、鉢植えの水、雨水マス、ブロックの穴、雨よけシートといった小さな水たまりに好んで産卵します。

## ● 幼虫(ポウフラ)対策のポイント～カントリー(缶取り)大作戦にご協力下さい～

蚊の産卵場所を無くすことが大切です。

### 1 不要な水たまりを無くす

屋外に放置された容器や空き缶・空き瓶・古タイヤなどを撤去します。

雨よけシートはくぼみに水が溜まらないようにします。

### 2 こまめな清掃・水の交換

植木鉢の受け皿・水生植物の鉢、散水用の汲み置き水などはこまめに水を入れ換えます。

金魚やメダカを飼うと、ポウフラを食べるので有効な対策です。

雨どいや排水溝は落ち葉などが詰まらないように清掃します。

### <参考>

田んぼや用水路のようなは水の流れがある場所では、ヒトスジシマカは発生しません。



ご協力よろしくお願ひいたします。(ウイルス・疫学情報担当)